

# 皮膚・排泄ケア認定看護師

- 皮膚・排泄ケアの領域は、スキンケアを基盤とし、創傷（褥瘡：床ずれ・手術の傷など）、ストーマ（人工肛門や人工膀胱）、排泄障害などの問題を抱えている方を対象としています。それらの問題やリスクを抱えている患者に対し、皮膚の健康を取り戻すこと、また、身体機能や社会生活を制限する排泄障害に対しての苦痛を取り除き、尊厳を保ち、生きる意欲や人間らしさを取り戻すためのケアを専門的な知識・技術を用いて援助します。

## 【現在の活動】

- ・ストーマ外来
- ・褥瘡ケアラウンド・褥瘡回診
- ・排尿ケアラウンド
- ・院内・院外の医師・看護職者、コ・メディカルに対する勉強会の開催
- ・スキンケア分野に関する知識・技術をもった看護師の育成
- ・看護学生や認定看護師教育課程、特定行為研修受講者などに対する教育
- ・市民公開講座の企画・運営
- ・研究会や講習会の企画・運営
- ・研究会や学会などでの発表

# メンバー紹介

六本木  
令子

救命センターで重症患者の創傷管理を行っていた経験から、早期からの褥瘡予防、早期治癒に向けた継続的なケア介入が重要であると強く感じ、2011年に皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得しました。褥瘡専従看護師を経て、現在は消化器病棟で、ストーマを保有する患者や創傷ケアを必要とする患者など、さまざまな問題を抱える患者の気持ちに寄り添い、その人らしい生活が送れるようにサポートしていきたいと考えています。

古田  
育巳

私は附属大磯病院消化器外科・泌尿器科病棟とICU・CCU、附属病院ICU・CCUの経験を経て、2014年に皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得しました。2021年度からは附属病院において褥瘡専従看護師として褥瘡予防・褥瘡回診等を行っております。

2020年度からは創傷管理分野の特定行為においても早期の創傷の治癒に向けて実践を行っております

河村  
就平

私は附属大磯病院の外科病棟にてストーマを造設される患者様の看護に携わらせていただきました。ストーマを造設される方は様々な思いを持ち手術へ望み、元の生活に向け治療を行っていきます。その中でストーマ造設が患者様の生活に少なからず影響し、今までの生活ができなくなるかもしれないという不安を持つ方も多くいらっしゃいます。私は「あきらめる」ではなく「どうすればその人らしい生活ができるか」を患者様と一緒に考え、支援をさせていただきたいと考えます。お困りの事がございましたら是非ともお声掛けください。よろしくお願い致します。

難波  
結子

創傷や排泄障害の存在は、ADL(日常生活動作)やQOL(生活や人生の質)に大きくかかわります。私は救命救急センターでの勤務経験から、皮膚・排泄ケアはどのような段階の患者さんにも必要なものだと思います。2017年に皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得しました。侵襲の大きな重症患者さんから、リハビリ期にいる患者さんまで、継続した褥瘡予防や排泄ケアを行うことでADLやQOLの向上に貢献したいと考えています。

齊木  
絵美

ICU所属時に、難治性潰瘍を併発した患者の看護を通し、専門的な知識・技術を身に付け、苦痛の緩和と早期治癒を目指したいと考えました。2023年に皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得し、現在は、救命センターにおいて重症患者の褥瘡予防ケア、創傷ケア、ストーマケアを実践しています。また、排尿ケアチームに所属し、排泄障害を抱える患者のQOLを維持し、その人らしく生きることを支えていきたいと考えています。